

平成30年8月31日

松本市議会議長  
上條 俊道 様

松本市議会議会運営委員会  
委員長 柿澤 潔

## 議会運営委員会行政視察報告書

議会運営委員会行政視察を実施しましたので、その概要について報告します。

### 記

#### 1 期 日

平成30年8月28日（火）から29日（水）までの2日間

#### 2 参加者

議長、副議長、議会運営委員9人、事務局随員2人 計13人

#### 3 視察先

(1) 北海道札幌市議会

#### 4 調査項目

(1) 北海道 札幌市議会

ア 議員提案の政策条例について

取組状況と課題

イ 議員海外視察の実施について

(ア) 実施方法（実施要綱の制定とその課題）

(イ) 視察結果の施策への反映方法、結果報告の方法と課題

ウ 議会施設について

(ア) 円滑な議事運営のための機能等（議会施設の視察を含めて）

(イ) 議会施設に関する現状の課題と今後の対応

#### 5 概 要

(1) 北海道札幌市議会

札幌市、市域1,121㎢。人口196万人。職員22,000名。議

員68名。議員報酬月額86万円。政務活動費月額40万円。

市とは言っても政令指定都市であり、県と同等の権限があり松本市とは比べ物にならない部分が多い。しかし議会の仕組みは、現在松本市議会では議会基本条例の検証中であり、海外視察やICT化、市庁舎建設など松本市議会にとって参考になることが多いと感じて視察研修に出かけた。

#### ア 議員提案の政策条例について

(ア) 日時 8月29日(水) 9時～9時33分

(イ) 対応者 政務調査課 照野課長

(ウ) 事業の背景・概要・課題及びそれに対する所感

##### ① 政策条例の必要性

市民ニーズを捉え、議員自身によって政策課題の解決と実現目指し、政策提案が見える化することにより議員活動等の成果と透明性に繋げる。

##### ② 具体的な作業と議会事務局のサポート

議会と事務局の役割分担を確認、施策を具体化、担当課を交えて勉強会(札幌市の特徴)、有識者や関係団体との意見交換、条例案の作成、上程後の議会運営・マスコミ対応というように段階的に進める。政策の立案は議員であり、事務局は一連の作業の補助。

##### ③ 今までに6本の議員提案条例を可決している。

★雪の下から出てくるたばこの吸い殻や空き缶などを防止するためのものでは、散乱防止指導員による巡回、違反者への過料を徴収

★住宅の耐震化を促すもの ★文化芸術を推進するもの ★住宅耐震化条例の一部を改正するもの ★住宅のリフォームに関するもの  
★映像配信によって札幌市のイメージアップを図るもの

全会一致を目指してきても、一部賛同の得られないものが一件あった。他は全会一致で可決。

いずれも現在においては普通に対応しているものであるが、条例の施行により理事者の政策遂行にスピード感が出ると思われる。

#### イ 議員海外視察の実施について

(ア) 日時 8月29日(水) 9時35分～10時2分

(イ) 対応者 総務課 神山課長

(ウ) 事業の背景・概要・課題及びそれに対する所感

平成15年度までは、対象を全議員として、個人視察・団体視察・関係団体主催視察など議長あてに届け出をすれば、議会費の上限80万円が支給され実施されてきた。資料等は議会図書室

平成17年度は、個人視察・団体視察・関係団体主催視察は従来どおりであるが、団編成は3会派以上5名以上とし、団編成は事前に会

長・団長会議に提出して議長の承認を受ける。報告書（追加された）・資料等は図書室

平成21年度まで変更なし。

平成22年度は財政事情などで実施を凍結。23年度から26年度までは、東日本大震災を考慮して凍結

平成28年度は、個人視察を廃止。計画書をホームページで公開。報告書もホームページで公開。議会費上限80万円は据え置き

米国、カナダなど交流都市への視察を実施している。

これらの取り組みは、議会費による海外視察研修であり、会派に支給される政務活動費での海外視察には制限がなく、会派の責任において実施されている。

#### ウ 議会施設について

(ア) 日時 8月29日（水）10時2分～10時45分 施設内視察

(イ) 施設概要・課題及びそれに対する所感

議場、議長室、委員協議会室、委員会室、レストランなどの15～17階までの議会施設を見学しながら説明を聞いてきた。

議場では、すべての議員席に折り畳みヘルメットが備えられていた。68名の議員ですから議場そのものが大掛かりであったが、傍聴席は高く議場内の見えない部分がある。車いす席と難聴者への配慮がなされていた。

議長、副議長室はそれぞれに設置されていて、議長応接室と繋がり十分な広さがある。松本市では正副議長は同室であるが、考え方もあるので今後に向けて検討が必要だと思う。

委員協議会室では、テレビ放映のための設備が設置されていて配信を行っている。委員会は6つあり同時開催の日もあるのでテレビ配信は出来ないとのこと。議員専用レストランが今は一般に開放されている。

松本市議会では、新庁舎の議会関連にどのくらいの広さと部屋数が必要か様々な意見があると思う。

#### 7 交流会について

(1) 日時 8月29日（水）10時45分～11時20分

(2) 交流相手

札幌市議会観光議員連盟 鈴木健雄会長、本郷敏史副会長、山口かずさ幹事長

(3) 開催内容及び所感

観光振興議員連盟（四十数名所属）の代表との懇談会を開催。札幌からは松本に出かけて行かないことを憂慮し、松本との交流を進めて行きたい

旨の発言があり、来年度は議員連盟として松本市を訪れたいとのことでした。

ここに議会のビジット3が進むかどうかの出発点になるキーがあるような気がした。

FDA臨時便で札幌丘珠空港へ降り、到着を待っていた路線バスにて札幌市内中心部まで約30分の乗車で到着。(新千歳、札幌間は電車で45分) 帰りは新千歳空港からお土産を少し買って、信州まつもと空港へ。

朝便と夕便があればかなりの時間を有効に使えるのにと感じた。

## 6 報告書（議長、副議長、各委員）

別添のとおり

## 7 資料

別添のとおり